

西日本豪雨ボランティアにスカウトも動きました。



7月27・30・31日 被災家族写真の洗浄・乾燥ボランティア(笠岡柳生写真館)

今回の災害は当団にも深く及び、岡本ベンチャー隊長宅が全壊、小林団委員長宅が床上浸水という大きな被害を被りました。お二方には団及び有志によるお見舞金をお渡ししました。一日も早い復興の一助になればとお祈ります。

またご家族関係者の中で独自にボランティアに参加された方もおられました。さらにスカウトにもできる支援活動を模索していましたが、岡山連盟より「水没した写真・アルバムの洗浄、乾燥作業のボランティア急募!」の呼びかけに当団で募ったところ、大勢のご家族が手を挙げていただき、3日間延べ21名が参加。被災家族の大切な思い出の救出に貢献できました。(tsuboi)

- 27日の朝~14時 河本千恵・蒼矢 計2名
- 30日の午前 中山典彦・佳久・友里 計3名
- 30日の午後 中山典彦・佳久・友里、大釜朋子・陽南・純一郎(6歳)、三宅沙織・紹巴、坪井慈朗、難波克行 計10名
- 31日の午後 三宅沙織・紹巴・蘇芳、吉國麻衣子・泰蔵、樫村恵美子・唯人、(一般)上野悟子・優月(小6) 計9名



木堂夏祭りに家族総出で出店

7月28日(日) 吉備中学校

今年も蒸し暑い木堂まつり、活動は恒例のうちわ配りです。私氏平と金光くんの2名でビーバー・カブ両隊指導してくださいという話、大丈夫か?と思っていたところ、坪井団委員長と急きょ会場に居合わせた豊福元副長に参加して頂くことになりました。16時すぎから吉備中学校運動場入口でうちわ配り開始です。

ビーバー隊は昨年同様、うちわを手渡せた人は入口から遠くなる列の後ろに並び直し、特定のスカウトだけが配り過ぎないようにしました。体調不良のスカウトも出ましたが、保護者の連携プレイで面倒を見ていただき一安心。



カブスカウトが懸命に呼びかけたお陰で、義援金は14042円も集まりました。早く被災者に役立つといいですね。

ホームページならもっとたくさんの写真が見られるぞ→www.tsukubo2.jp

ビーバー隊通信

7月15日(日) さるかに合戦(岡山市立少年自然の家)

今回は、日応寺少年自然で2年に一度の沢登りハイクを行いました。先週の大雨で懸念されていましたが前日の下見で確認したので安全面では大丈夫。危険な植物、動物の説明をした後、沢登りコースへ移動。下の方のコースは、大雨で崩れているところもあったので今回は中間からショートコースとなりました。大雨にながされているかとおもいましたが、沢ガニも岩の下に上手に隠れていたようです。スカウトもたくさん発見することができました。ヤゴや、小魚もみつけることができました。



沢登りの後は、施設のお風呂を借り汚れをシャワーで落としました。マダニも幸いなことに見つかりませんでした。熱中症対策としてカブ弁もご好意で食堂でとれました。

涼んだところで、すいか割りも行いました。スカウト全員参加。すいかに当たってヒビが入る子もいましたが割れるまでには至りませんでした。スカウトのお父さんたちにも参加してもらいました。最後に決めたのは、木曾君のお父さん。見事に真つぶたつに割ってもらいました。

みんなでスイカを食べたあとは、組をつくり室内でWAOFミノで遊びました。今回から参加の北君と光畑君が入隊式をおこない、これでビーバー隊は、16名になりました。8月も暑いですが活動も元気に楽しくがんばりましょう。(ozaki)



ボーイ隊通信

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE 平成30年(2018年) 8月4日(土)~10日(金)
 第17回日本ジャンボリー 石川・珠洲市 りふれっしゅ村鉢ヶ崎

7月14-15日(土日)17NSJ訓練キャンプ(鴨西公民館横)

スカウトジャンボリーまであとわずか、最後の訓練キャンプとなりました。今回は特別に大会イメージソング作者の「アンブランフォード」の二人組に来てもらい、わが派遣隊だけの特別ライブをやってもらいました。本格的なライブパフォーマンスにみんなで盛り上がりました。本番の開会式でのライブもあるということで、また現地でお会いしましょう。

7月31日(火)17NSJ派遣スカウト壮行会(吉備公民館)

29日の予定が台風で流れて、平日の夜に室内でおとなしい壮行会となりました。

- 17NSJ派遣スカウト
 ベンチャー隊:中山紘佑
 ボーイ隊:丸山翔大、田口暁斗、樫村唯人、中山佳久、八木史考
 本部スタッフ:見村三吉団委員長、坪井喜久太団委員、井上龍(ローパー)

カブ隊通信

7月15日(日) 災害を考える(吉備公民館)

西日本豪雨の大災害!そして、竜天天文台キャンプ場に熊がでた!そんな状況ではキャンプどころではありません。今回の活動は予定を変更して「大災害に直面してカブ隊としてできることを考える!」になりました。

まずは被災された方々を想い黙祷。そして、東日本大震災の復旧支援ボランティアに行かれた坪井団委員長からお話をいただきました。映像とともに説明して下さったので、ボランティアとはどんなものか?被災地はどういう状態か?イメージすることができました。その後、保護者も含め、みんなが今回の災害で体験したことを共有し、各組に別れてカブスカウトとして何が出来るかを考えました。

足りない物資を届ける!避難場所を提供する!力のある社長を動かす!安部総理に意見書を届ける!...おもしろいアイデアがたくさん出てきましたが、具体的にカブ隊としてできそうなこととして「義援金を集めること」に決めました。沿道に立って募金を呼び掛けるだけでなく、SNSやYouTubeで呼び掛ける。何かを販売してその利益を義援金にまわす。「一日10円募金しよう!」というキャッチフレーズなど、やり方に関するアイデアを出してくれるスカウトもいました。カブスカウトは大人のように体力はありませんが、柔軟な頭と想像力があります。そこに想いがあれば、できることは沢山ありそうですね。今後、子どもたちが考えたことを形にしてやれるよう大人もサポートしていきましょう。

今回、災害のことを考えたことで、普段なんとなく行っているスカウト活動が、いざという時に役立つものだとことをあらためて感じました。「そなえよ常に!」とは、こういうことですね。(sakai)

